



SPUR

**CIRCLE FOR ELEGANT
SKI 2012**

はじめに

こんにちは、今年度2012年執行部、渉外部の宝居と申します。今回はSpurrと呼ばれるものを2年目～4年目の方々に書いていただきました。Spurrとはドイツ語で「軌跡」という意味があり、前年度を振り返り、自分がどのような「軌跡」をつけていったのかを見つめなおし、来年度のシーズンになげるといふ目的があります。自分の滑りからシーズン中の内面的な姿勢に至るまで、おのおのの考え方の下、熱き思いがこぼれられています。また、来シーズンの目標というものも今回書いていただきました。(一部書かれていない人もおられます)

どのSpurrも、エレガントスキー部若き精鋭たちの、スキーにかける情熱と意気込みが見えるものとなっています。たとえ3行でも！ですので、皆さまぜひ、おのおのの決意を見ていただきたいと思います。

さあ、今年度こそ岩岳優勝だ！

2012年6月14日
第45代 執行部 渉外部
宝居和希

「～4年目～」

～シュプール 1年を振り返って 第45代会長 落合 泰大

俺らの1年間は先代の岩岳優勝まであと少しという悔しさの残るなか、次こそはと多くの先輩やOB・OGの期待や応援のもとに始まり、そしてその期待を裏切り、後世にその悔しさを残して終わった。1年間は本当にあっという間だった。おそらく人生でこれほどまでに1つの事に没頭できることはそんなに多くはないだろう。4年生になって改めて感じるのは代々と先輩方がエレを強くしようと築きあげてきた伝統が今のエレを作っているということだ。

今シーズンは本当にスキーが楽しかった。1年間中川さんをはじめとした色々なコーチや先輩にお世話になり、毎週のように違う感覚が得られ、その都度イメージがかわっていった。毎年1月ごろは考えすぎてスキーの迷宮に迷い込むのだから、今年はそれもなく、春の最後まで最高にスキーが楽しかった。そのおかげか去年の4月の時点で予想もしなかった、道大会準決勝という結果を残せた。ただし、最大の目標である岩岳では個人99位、総合2位という結果に終わった。1年間でっぺんから見える景色を想像し活動してきたが、結局高い所からの景色は見れず、その悔しさは言い表せない。岩岳に来ていただき、応援していただいた沢山の先輩方にはすみませんとありがとうございます、同期にはお疲れ様、後輩にはついてきてくれてありがとうございます、と心から言いたい。

特に今年初めて持った弟子2人はわけのわからない日本語を話す俺をしたって？たかどうかはわからないがついてきてくれてありがとうございます。自分のスキーのイメージ、方向性がどんどん変わるから、週をまたぐと違うことを言っていたりして、だいぶ混乱させたかもしれない。結果的には2人ともうまくなってくれよかった。(まあ、俺のおかげかどうかは微妙だが)。来シーズンは教える立場になるんだろうから、もしわからないことがあれば聞いてください。できるだけの協力はするから。

部長として俺は執行部を、部全体をまとめられたらどうか？正直これは微妙なきがする。全く自信をもってYESと言えない。なかなか意見をまとめられないし、部員の士気を高めるようなスピーチができたわけでもないし、威厳をたもてたかどうか微妙だ。でもこれまであまり人の上に立つことは少なかった自分にとって、この立場は非常に自分を成長させたように感じる。やってよかったと本当に思う。同期の奴らはスキーに対してガチだったし、皆本気でうまくなりたいと思って練習していた。だから自分もそれに負けないように頑張れた。そんな風にエレの皆がなってくれたら今後のエレに心配することはないし、ずっとそんなエレであってほしいと思う。

ここまで脈略もなく、ぐだぐだ書いたが、最後にちょっと言いたいことは

みんなスキーを心から楽しんでほしい、そして目標の滑りと比べ自分が何ができていないか、それが自分で発見できるようになるとスキーはうまくなるはずだ。

去年の執行部として最大の失態はやはり岩岳で優勝できなかったことである。モチベーションの高いものが多く、オフシーズンからしっかりと準備できていたように思うが、しかしそれでも優勝できないのは、それだけ全国優勝が難しいからである。そのため、自分たちではやった気になっていても、先輩方、他大学、その他のスキーヤーからしたら、まだまだできることは確かにあった。技術的なこともそうであるが、何か妥協や満足があるとそれが不安要素になり、そして敗因になる。師匠-弟子の制度にしてもそうだ。面倒であるからと、話し合いを後回しにし、ぎりぎりになって自分たちがあまり乗り気でない制度にしてしまった。その結果、ただ複雑になっただけで、自分に関して言えば、弟子には大変申し訳ないが師匠をやったという実感がない。本気で話し合う時間が足りなかったと思う。

次の代も優勝という目標を掲げている以上、1年後自分みたいに後悔はしてほしくない。そのためには執行部一人一人が本気で優勝という目標に向き合ってほしい。戦力を見て厳しいことはだれもが知っている。だったら、今まで通りをなぞっているようでは絶対に達成されないと思う。なんて偉そうなことを言うてみる。

優勝できなかったことは悔やまれるが、執行部として1年過ごしてきたこと、あいつらと一緒に岩岳で戦えたことはとても大事な経験になったと思うし、いい思い出でもある。本当にいい仲間巡り合えたと思う。ほとんどが初心者でスタートし、始めは周りの学生や年下のジュニアの選手までもが自分たちとは比べ物にならないぐらいうまく、時には本当に泣きたくなるぐらい悔しい思いもした。時には苦しくてスキーをやめたくなることもあったが、決して辞めず、全員がスキー上手になりたいという一心でやってきた。スキー技術を含め何にしても、遠慮せずに相手のいいところ、悪いところ言い合える良い関係でこの1年過ごせた。今年で4年目となり、卒論などでほとんど部活に参加できないやつもいるけど、岩岳また全員で参加できたらいいと思う。ま、日程次第だけど。リベンジすんぞ！おれらのミスは俺らで何とかせんとな！

副部長として何かやったかってーと...あ、グレスデン合宿で落合の代わりに仕切ったぐらいだな。落合に任せすぎた感はあるが、まあ違うところで貢献できたと思うのでまあよしとしようじゃないか。すまん、落合。副部長が手を出すまでもなかったんだ。

学連に関しては、たくさんスキーヤーと触れ合う機会を部に提供できたと思うし、大学の枠を越え、良いライバル関係を築き、全国ではともに同じ北海道勢として、応援し、讃えあう最高の仲間ができた。最後の朝里大会も個人的な結果は駄目だったけど、全体として本当に最高の大会だったぜー！いろんな人に良かったと声をかけていただけたし。

スキーに関しては、技術論に詳しく書こうと思う。まあ、一つ梁義風に言うならば、自分の滑りはカスで、ビデオチェックするたび吐きそうになった。ただ小回りに関しては、シーズン終了間際まで滑りを変えて行けたことだけは良かったかと。最後まで宮本にダメ

出しされ続けたけども。

来シーズンはもっと大胆に滑りを変えていきたい。岩岳でトップテンに入らないと、沖縄旅行を4年目にプレゼントしろとか脅されているしな！！

それと、あいつには絶対勝アアツ！！！！

シュプール

上原 壮登

昨シーズンは、執行部と学連の副会長の仕事を終えることができました。色々、失敗もしたし、怒られることもあったけど、成長できた1年間だったと思います。思い返してみれば、3年生の時は、学校も忙しく、スキー・執行部・学連の仕事と息つく暇のない1年でした。でも、それだけ一つのことに打ち込めた1年だったと思います。最後まで、一生懸命やり、得られた充実感は大きかったです。スキーを通して、人間を成長させることのできた1年でした。3年の春では、学連でみんなの前でしゃべるときカミカミだったけど、最後の朝里では、セレモニーの司会をすることができました。まわりの同期を見ても、1年、2年の頃から成長した人が多かったです。

今の執行部のみんなは、3年生のときは、大変だったりするけど、スキー・執行部を通して、人間力を上げてほしいです！！偉そうなこと書いたけど、自分も頑張っていきたいです！

スキーに関しては、岩岳でスーパーシードが取れたのは、嬉しかったです。今年、出れるか分からんけど…

今年は、週一スキーヤーになるので、何とかうまくなる方法を考えよー
できるだけ、エレに関わっていこー

SPUR 2012

田中貴之

✓ 執行部として

研究生活との両立が難しく、あまり仕事ができないことから、執行部をやることに関しては悩むところもあったが、結果としてやって良かったと感じている。執行部の立場からエレガントスキー部に携わることで、今まで部の中において見えていなかったことに気付いたり、先輩方がしてきた苦労を身をもって感じた。執行部でありながら行事に参加できないことが多く、自分の仕事を周りに託すこともあったが、そんな自分を執行部として受け入れてくれた部員の皆さんに感謝したい。

✓ 個人として

昨年との成績を比べてみる。

札予 41 位→37 位、道予 149 位→143 位、岩岳 45 位→48 位

成績を伸ばす事はできなかった。

結局自分の滑りを大きく変えることができなかったのだと思う。スキーの上達には少しずつ意識を変えていくことも大切だが、ときには自分の滑りを思い切って壊すことが必要となる。シーズンはじめにいろんなコーチの講習を受け、今までとは違う感覚を得ることができた時期もあった。しかし、シーズンを振り返ってみると結局滑りを壊すことができず、その感覚をものにするのができなかった。それが昨シーズン成績を伸ばせなかった要因なのだろう。もちろん昨シーズンが無駄であったわけではない。無謀とも考えていた R27 のロング板にもそれなりに乗れるようになり、大回り系種目の滑走スピードを大幅に上げることができたことは前進である。

師匠としては、メニューの一貫性に欠いた部分があったかなという点で反省しているが、弟子が順調に上達したので安堵している。また、大会では悔しい想いをしたと思うので、その悔しさをバネにさらに上を目指して欲しいと思う。

来年は学生最後のシーズン、思い切って滑りを大きく変えてみたいと思う。目標は道大会決勝進出。暇があったらクラウン取りたい。

昨シーズンの反省と今後

下条 啓文

目標：道予出場、岩岳 100 位

<会計部>

部費は部全体のためのお金である。学連行事の補助はきちんと部に還元するという気持ちでもらって欲しい。その辺の意識付けが少し足りなかったのかなとも思う。それ以外は特に問題なくやれたつもり。ちょっと返金遅れた時もあったかなあ。

<個人>

ぶっちゃけると、自分は 2 年生までは考えてスキーをやっていなかったように思う。昨シーズンは師匠をやるにあたり、前期からジャーナルとか読んで知識を身につけ、考えてスキーをするようになった。実際、頭で考えた事と体で動かす事が連動しないわけで、上手くいかない事が多かった。結果として、札幌予選は通過できず、岩岳大会も満足いく結果とはならなかった。来シーズンはもっと小さい目標を積み重ね、札幌予選通過、岩岳大会でも好成绩を収めたい。全体の反省はそんな感じ。

岩岳大会では、去年とは比べものにならないくらい緊張した。正直、緊張しすぎて去年の経験が活かされたかは謎。予選で気合いを入れすぎてしまったのは反省。来シーズンは「予選は余裕！」という実力と気持ちをもちたい。あと一本一本色々考えて滑る。試合直前は1人である方が集中出来ることも分かった。

残りは技術論で。

SDUR

渋谷宏美

スキーは小さい頃から大好きなスポーツです。3年間上手くなりたいと思ってやってきて、やっと先シーズン岩岳でスーパーシードを取れたことはとても思い出深いことで、いろんな人に支えてもらえて初めて叶ったことだと思います。

ただ、私はスキーだけではない、やりたいことをするためにこの大学に来たので、それをやり遂げます。

スキーはとっても楽しいスポーツだし、滑りながら自然を体感できる素晴らしいスポーツだと思う。みんなにもそれを感じてもらって、もっとスキーを好きになってもらえたらいいな。

執行部を終えて

宮本貴雄

目標；札予突破、岩岳100位

まずこの1年のことを振り返ってみる。

この1年は執行部として、また学連の役員としてとにかく必死だった。トラブルが次から次にでてきて、やらなければならないことがずっと頭の中でぐるぐる回っていた。スキーについてもなかなか順調にはいかなかった。毎年スキーをするたびに思うのだが、基礎スキーというのはなんでこんなに難しいのか？ちょっとうまくなったと思ったら、また変な癖ついたり、ヘタクソになったり…。札予はボロボロで、岩岳も全然目標には届かず一緒に頑張ってきた部のみんなに本当に申し訳なかった。そんなこんなで決して順風満帆な1年ではなかった。でも、いままでの人生で1番おおきな物をもった年でもあった。本当にいろんなものをエレや学連を通してもらった。朝里大会の最後では涙が流れた。中学でも高校でも部活でなかったことなんかなかったのに…。泣いた自分に自分が一番驚いていた。そんなアツいアツい一年だった。

そしてこれから、、、

自分もいよいよ4年目となってしまった。もうやり残したことはないだろうか？いやいや、

まだまだ全然、沢山ある。やり残すことがないよう、悔いがないよう、去年の経験をバネにして今年を駆け抜けたい！！真に強いスキーヤーを目指して！！

どんなに学校忙しくても、今年もスキーやってやるからな！リベンジするぞ！！！！

今までで一番早かった一年間 **西山 太郎**

エレガントスキー部に入ってから、もう三年が経過した。その三年間の中でも、今年が一番早かった。それほど、この一年が充実していたということだろう。しかし、自分として納得のいく結果を残せなかった一年だった。その反省を自分なりにまとめていく。

まず、執行部として。僕たち執行部が去年目標として掲げていたのは、去年惜しくも達成出来なかった岩岳優勝だ。そのために、一年間「どうすれば優勝できるのか」をベースに考え、トレの内容やより効率のいい師匠弟子制度を考えてきた。しかし、結果は準優勝。あの表彰式は今でも鮮明に覚えている。なにせ、オフシーズンのときから「優勝したら、表彰台にダッシュでのぼりに行く！笑」みたいな妄想をしていたので、やっぱりショックだった。でも、他の四年の連中と喋っていると時に思うのは、優勝するために出来ることはもっとあったなってこと。もっともっとやれることはたくさんあった。これは今だから言えることかもしれないけれど、今の執行部は一年後に後悔しないためにもやれることは精一杯やってほしい。大変だと思うけど頑張って！

次に個人として。まず、今年の大きな目標だった「札幌予選突破」が果たせなかった。思えばこの頃からモチベーションが下がっていった。腰の調子も思わしくなく、札幌予選も通過出来なくて、この頃からスキーが楽しくなくなっていた。こんな状態が岩岳まで続いてしまい、岩岳の結果は散々だった。今思えば、「札幌はダメだったけど、岩岳に向けてまた奮起しよう！他の奴には負けない！」と思えば、岩岳の結果も変わったのかもしれない。このことが、今シーズン最大の後悔。常に前を見続けることが出来なかった。来年は、こんなことは絶対ないようにする！！

また、上でも書いたが岩岳の結果は酷かった。頑張っているチームのみんなに申し訳なかった。来年は絶対リベンジ！そして優勝！！

ここからは余談だが、二年以上は知っていると思うが、僕は決勝のフリー種目のトップバッターだったのだが、転倒してしまった。その後ゴールして自分の点数を見る。確か 221 点。頭が真っ白になった。決勝で巻き返そうと意気込んでいた矢先にこれだ。まあ、泣くよね。そんなときに、(あえて名前は伏せるが) ○○さんが僕に一言

「お前一人で戦ってるわけじゃないんだぞ。」

(頭が真っ白でよく覚えていないのだが、こんな感じだったかな。) すごく心に響いた。他にも、○さんや○○さんに岩岳中に色んなことを言われた。そのどれもが、チームのことを、そして僕のことを考えて言ってくれた言葉だった。先輩の大きさをものすごく感じた。僕も来年、こんなことを言えるような先輩を目指したい。

あと、自分の滑りと上手い人の滑りの一番の違いは、スキーの走り。他の色々な欠点も全部ここに行き着く。考えは人それぞれだと思うけど、僕は長い谷回りより、こっちの方が大事だと思う。来年は、走りをベースに考えていくつもり。

まあ、反省点は他にも色々あるけど、毎年 SPUR に書いてるんだけど、やっぱり怪我なんかしたい。毎年必ず怪我するわ・・・ 今年は腰 (ヘルニア)。もう何なの・・・ 野菜食べるしかないのか・・・。

嬉しかったことは弟子の成長。朝里の決勝に残るくらい上手くなってくれた奴もいるし、そういう姿をみるのはすごく嬉しい。師匠をあまりやりたがらない人もいるけど、僕は出来れば来年も師匠したい。

かなりネガティブな内容になってしまったけど、それでも僕はエレが、スキーが好きだ。この仲間と共に岩岳で優勝したい！さて、また今シーズンに向けて頑張るか！！

未提出

佐藤幸

未提出

新沼孝太

「～3年目～」

Spur

第45代会長 小沼 義季

目標：道大会決勝進出、岩岳大会男女総合優勝

今年は目標にあげたことがすべてである。

去年の spur を今読み返してみると、目標に掲げたことがほとんど達成できていなかった。岩岳、朝里大会、エレで目標としている大会で全く満足のいく結果が出せなかった。今シーズンで唯一良かった点といえば、札幌予選を突破して、道大会に出場できたことだろうか。札幌予選はギリギリで通過したが、道大会では実力以上の順位を出せたと思う。これはルスツで滑り込んだおかげであった気がする。思えば今シーズンは onze よりもルスツで滑った日数のほうが多かった。笑

道大会で結果を出したいと思っている人たち、ルスツイントラやったほうがいいよ。絶対。それと合同合宿も行くべき。

反省

全体的にみて、満足のいく結果を出せなかった今シーズン、実力不足を改めて実感した。調子の良かった道大会でも準決勝まで行けなかった。その原因をずっと考えているのだが、未だに答えが見つからない。おそらくこの先も。いくつか思い当たるふしがないわけではないが、はっきりこれだ！というものがない。しかし何かしらの原因は間違いなくあった。同世代のライバル達は自分より遥かに上達していて、大きな差をつけられてしまったし、差をつけたと思った人達にも差を縮められてしまった。

原因が分からないのだから、どうやったら改善できるのかもはっきりとは分からない。どうしたらいいのか分からず、来年のマテリアルを決める時にも散々迷った。迷って迷って迷いまくった。至った結論は、原因を考えるのはやめて、上手くなる方法だけを考えるようにしよう、ということだった。とにかく上手くなるために最善の道を選び、そしてがむしゃらに頑張ろうと思った。

決意

今年、3年目になり、執行部になり、部長となってシーズンを迎える。目標に掲げた通り、今年の目標は、岩岳大会男女総合優勝である。改めて見るととんでもない目標である。おそらく、過去に達成したチームは1つもない。しかし、実現できないとは全く思ってい

ない。むしろ、岩岳の表彰台の一番上でクリスタルトロフィーを掲げるイメージしか持っていない。

道のりは間違いなく険しいと思う。課題も山積みである。onze も営業廃止になってしまった。大変なことも多いと思うが、だからこそやりがいもある。将来性のある1年生もたくさん入ってきた。自分の果たす役割は、執行部をまとめ、部員全員のことを考え、エレを楽しんでもらうこと。その先に岩岳優勝があると思う。

今年1年間、部長として頑張ります。改めまして皆さんよろしく申し上げます。

『SPUR』

遠藤 賢司

目標：北海道予選出場 岩岳個人戦 150位

昨シーズンは反省すべき点が多いシーズンだった。

まず、オフシーズンの取り組み方について振り返ろうと思う。通常トレは一年生のころよりもモチベーションが低く、トレ中にスキーのイメージをあまりできていなかったと思う。また、自主的にトレをしようとする意欲もなかった。その結果、疲れやすい身体のままシーズンインしてしまったように思える。シーズンに入ってから、とにかくたくさん滑ろうと行ける日は車を出していたものの、考えながら滑ることが足りなかったと思う。なので、練習量に対してさほどスキー技術の向上はしなかった。

自分が、よく考えて滑るということの意識が変わり始めたのは、札幌予選に出場したあたりからだ。

巧い選手と同じバーンで同じ条件で滑ることで、自分がいかにクセのある駄目な滑りをしているのかを思い知った。その時あたりから、自分の滑りと巧い選手の人の滑りをビデオで記録して、局面ごとに身体をどのように動かしているのか比較し研究するようになった。

そうして意識は変わったものの、身体をイメージ通りに動かせず、頭から入る右ターンと腰が遅れる左ターンに悩まされ続け、おもな大会では一つとして納得のいく結果を残せずに終わった。

とても悔しかった。

執行部となって、責任が生じるようになってきてからは、オフシーズンでもトレに対する取り組み方や、身体の使い方をよく考えるようになってきた。

家にいるときも、暇あればスキーのターン MAX の姿勢をガラスごしに確認するようになった。

四年生になってからはスキーを十分にやれる確証はないので、今シーズンが最後のシーズンだと思うくらいに背水の陣で努力し、札幌予選や岩岳大会では絶対に悔いを残さないようにしたい。

以上。

Spur

ヤン智現

昨年度のシーズンはオフシーズンから気合を入れ、活動をしてきた。だが結局前々シーズンと同じく、むしろ最悪の状況が俺を待っていた。シーズンが始まる一週間前に左足を骨折してしまった。個人的には新しいシーズンに向けてものすごく期待していたし、全力を出すつもりであったのに怪我にまた足を引っ張られたため、絶望感が大きいはずだったが、なぜか悲しまず、リハビリに尽くした。多分今振り返ってみると思うが、がっかりする暇もなく焦りまくってとにかく直そうという感じであっただろう。だが怪我をしたことにより自分のメンタルがものすごい鍛えられて、これがまたわりといい方向に影響を与えたと信じている。自分ができることはとりあえず沢山しておいて、それに伴う結果に従い、納得する。そして次回より良い結果を出すためにまた前に進むことを学んだ。怪我から復帰するまでには2ヶ月がかかったが、予想以上に早く復帰できたのはやはり自分で小魚やカルシウムなどを食べまくったり、酒を一口も飲まなかったり、規則的な生活リズムを取ったり、睡眠時間を長く取ったり、リハビリなど努力した結果だと思う。復帰してからはスキーノートを書いたり、日常生活でもなるべくスキーのことを考えた。その結果、同期の中では一番遅かったが、2級も1級も取れて嬉しかった。岩岳大会でも決勝までは行けなかったが、予選突破ができたし、長野から帰ってきてまた頑張って朝里大会では決勝まで行けてよかった。客観的に自分の滑りはそういうレベルでもないし、実際成績も全くいい成績ではない。まだまだだめだし、まだまだカスである。だが怪我にも関わらず、諦めないで頑張ってきた自分はちょっとは褒めたい。来シーズンはもっともっと上まで行けるように頑張る。そして行く。

Spur

加島康平

今年目標：岩岳100位

エレガントスキー部に入って早いことに2年過ぎ3年目を迎えることになった。1年目はスキーを楽しむだけで満足していた。正直、上手くなろうとはそこまで真剣に思っていなかった。当然、岩岳では結果もでなかった。そして、同期に負けているのが悔しく挑んだ2年

目。1年目よりも上手くなってやるという気持ちが強く、真剣に取り組んだつもりだったが岩岳 B チームで出場したのにもかかわらず予選落ち。とても恥ずかしかった。しかし、今まで以上に真剣に取り組まなければ、満足する結果が得られないことがわかった。今、思い起こせば、トレもやってはいるが、ただメニューをこなしているだけで、これがどこを鍛えていて、どのようにスキーにつながるかなど一切考えてなかった。やはりこの辺の意識の違いが今シーズンの結果だったのかなと感じる。今年は意識を入れ替えてスキーに取り組む必ず目標を達成しようと思う。

来年の Spur には充実した1年だったと書けるように頑張りたい。

最後に、師匠の落合さんとすみよさんには1年間丁寧に指導して頂き、とても感謝しています。

ありがとうございました！！

SPUR

鈴木沙也

去年はたくさん悩んだ一年間でした。でもエレのみなさんのおかげで頑張ってみようって思えて、今に至ります。この場を借りてお礼を言いたいです。ありがとうございました。

シーズンを振り返ってみると、1級をとる・岩岳でポイントをとるという目標は達成できましたが、満足はできませんでした。1級受験のときもこぶを克服できないままだったり、岩岳も一番いい滑りができたのがポイント関係ない予選だったり…他にも悔しい思いをすることがたくさんありました。

でも悔しいことばかりじゃなくて、今シーズンはスキーが楽しいって思えました。楽しいって思えたら、上手くなりたいって思うようになりました。これが自分のなかで一番の収穫です。今さらでごめんなさい。

今シーズンの目標は、いろんな斜面を滑れるようになることです。ガリガリのバーンとか、パウダーとか、岩岳みたいな雪とか、不整地とか、急斜面とか、こぶとかこぶとかこぶとか…

特にこぶは上手くなりたいです。そして、岩岳でスタートラインに立った瞬間に無理だと思ってこぶに入らないで終わった去年の悔しさをどうにかします。

あとはやっぱり岩岳で総合優勝したいです、優勝しましょう！

すごくいいときにエレにいられることに感謝です。

個人として、執行部として、エレのことをいっぱい考えて頑張っていきたいです。

目標：札予突破、岩岳個人戦 150 位

昨シーズンは、一年目の悔しさからオフシーズンに真剣に取り組み、準備ができていたと思っていたが、それでも全然足りず、悔いの残るシーズンとなった。オフシーズンにモチベーションが落ちることはなかったが、オフシーズン中には、インラインだけでなく雑誌を漁り読む、DVD を見てイメージを常に沸かせる、もっと強い体をつくるなど、もっとできることがあったし、シーズンに入っても自分がいま何が原因でどこがどう悪いのかを理解するまでに時間がかかった。なによりまず、基礎がなっていなかった。せっかく素晴らしい師匠の方々にみていただいたのに、基本的なことで時間を割いてしまった場面も少なくなかった。普段の練習でもっとやるべき。小沼にも迷惑をたくさんかけてしまったと思う。

今年は初期オーズが使えない可能性が大きいですが、シーズン初期には徹底して基礎の確認を行う。わからないことがあればすぐに人に聞く。

来シーズンに向けて、特にオフシーズンに出来ることを充実させたい。二月などは滑りこむので、それに負けないだけの体力、筋力、精神力が必要だし、今の体はまだまだ弱いと思う。

今年は副部長になったので、先輩にも後輩にも同期にも恥ずかしい姿は見せられない。“自分は副部長なんだ” という意識を常に持って行動したい。

目標：札予突破 岩岳 150 位以内

昨シーズンをふりかえると、札予もでられず、岩岳もでられず、朝里も決勝にいけず、ひどい結果に悔しい思いをした。下の代にまくられたのもほんとに悔しい。調子に乗るんじゃないぞ、まったく。今年は 3 年目のシーズンなので、もっと結果にこだわっていきたい。そのため、次のシーズンは ONZE もなくシーズンインが遅れることもあるし、より一本一本を集中して意識して滑ろうと思う。基礎練も怠らず、滑りをいろんな人に見てもらって、自分の悪いところを逐一直していききたい。また、技術部になったこともあり、まず自分が一から技術面の知識をつけて、毎回毎回しっかり考えながら滑って、滑りの質を向上させたい。

悔しい思いをしたのはもうひとつ、同期が大分減ってしまったことだ。やめるなんて思ってなかったのにやめるやつがいて、やめようと思ったが続けるやつがいて。そういうやつと話すと、自分がいかに適当に生活していたのかが思い知らされることもある。今年は去年よりも忙しくなるし大変になるだろうけど、1日1日を大切にしっかり計画的に1年間過ごしていきたい。エレを続けたいけどやめていったやつの分まで頑張って、そしてスキーをエレをたくさん楽しめたらいいと思う。また、執行部という立場でもあるので部員みんなにエレを楽しんでもらえるような雰囲気作りも頑張りたい。もちろん一番頑張ることは、選手として岩岳総合優勝に貢献すること。がつつりポイントとる！

シュプール

清水翼

目標:岩岳 150 位以内

今シーズンはあまり結果が出せなかった。
ただ滑走日数だけを重ねて、考えて滑る機会が少なかったのが原因として考えられる。
オフシーズン中に勉強することも含め、来シーズンはもっと考えて滑るようにしたい。

だーざいんになりたい

熊谷 綾華

今年度のはじめに、エレガントスキー部として「岩岳男女総合優勝」という目標を決めました。女子の方は女子だけで目標についてミーティングを行い、優勝を目指してゆくという方針で一致しました。その時に自分の中でも個人としての目標を立てました。内緒だけど。

目標達成への意欲を一年間持続させるのは私にとっては難しいことです。持続自体が難しいのに、私の精神が低スペックな故に発生する様々な障害が私を阻害するのです。つらいなあ。これを防ぐためには、自分が日々目標に向けて努力して、しかもそれが目標へ近づけるものとなっているという実感が必要です。

オンシーズンもオフシーズンも、自分がこの2年間確実に怠ってきたことが何個かあります。それは、怠っていたまさにその場で自覚していたものもありますが、手つかずでした。理由は「面倒だから」か「怖いから」かのどちらかです。それも頑張って改善します。

執行部はエレガントスキー部に所属する人間の、部ですごす時間の質を左右する重大な存在です。その人が学生として過ごす最後の数年間がしょうもないものになってはいけません、その気になればいくらでも甘えられる大学生活を充実させようと努力している人たちから時間を奪うことがあってはいけないよなあと思っています。まあほとんど思っているだけなんですけど。ある問題について考え始めるとその一部にしか目がいかなくなって他の問題がお構いなしになってしまう自分の頭をなんとかしたいです。一度スリープになると再起動に時間のかかる低スペックな精神もなんとかしたいです。とにかく、執行部も学連も他人に迷惑かけずに、自分の仕事はきっちりできるように努力します。

「軌跡」

宝居和希

今季の目標：朝里大会決選進出

前年度はスキーでも日常生活でも様々なことがあり、いろいろと考えさせられる1年となった。先んじて結論を述べておくと、シーズン通して全力を尽くせなかった不甲斐ない1年だったと思う。だからこそ前年度の反省を生かし、今年度を意義あるものにできたら…いいなあ。

まず、夏場のトレに関してだが、体調を崩すことが多く、また、夏休みのトレーニングに1度しか参加できないという非常に情けない結果に終わった。また、走りこみの不足と心身の衰えにより、体力に課題が残り、シーズン通して全力を出し切れなかった大きな要因になった。今季はこの反省を生かし、特に夏休みにおこるトレーニング不足を解消するべく、週1トレに積極的に参加できたら…いいなあ。

シーズンに関しては、意識の問題がやはり大きかったと思う。岩岳大会の登録をBチームにするという、人によっては『逃げ』にとられるであろう選択をし、シーズン通して「自分はBチームだ」という意識がどうしてもちらついてしまった。最終的には個人競技、団体競技と練習・本番を通して大変いい経験となったが、シーズン序盤でこのような意識の低さが見えてしまったのは大いに反省したい。今季は執行部となり、Aチーム入りを目指す所存だが、シーズン序盤から高い目標と意識をもって臨めたら…いいなあ。

最後に、今までの自分を見つめなおし、そして今現在の自分を理解し、未来の自分を思い描けるよう、自分なりに頑張りたい…と思う。あと痩せたいです

「～2年目～」

1年を振り返って

吉田拓也

来シーズンの目標：技術選札幌予選突破 岩岳個人戦100位以内

エレに入ってから1年は楽しく充実した1年だった。もともとスキーの経験はあったが、改めてスキーが楽しいと思ったし、シーズンインしてからはずっとスキーの事ばかり考えていた。今シーズン指導して下さった先輩方、特に師匠にはとても感謝しています。

今シーズンを振り返ってみると、まず目標であった1級を取れたことが良かった。そして岩岳の個人戦・団体戦出場の枠を取ったことは自分にとって大きかった。もちろん、本番の岩岳で滑ったことも良い経験になったのだが、それ以上に枠をとってから岩岳までの期間が今振り返って一番印象に残っている。選考会が終わってから一段とスキーに対して真剣に取り組んだし、深く考えるようになった。

ただ苦手だった小回りは課題のまま残ってしまったし、岩岳、朝里でも足を引っ張った。その他、まだまだ課題があるので、来シーズンはその辺を意識して一本一本集中して滑りたいと思う。そして掲げた目標を達成できるよう頑張りたい。

SPUR

向井文梧

目標：岩岳出場、個人戦二桁

一年目のシーズン、目標達成状況。

年内一級→○ 12/30に取得。バイトやめて正解。

岩岳新人戦表彰台→× 小回りはよかったのにね。経験・実力不足。

一年目は、ショート板を相棒に選んだのが大きいのかもかもしれないが、小回りは自分でもうまくなったと思う。上を見ればまだまだ限りないけども。いよいよ二年目はロング板に乗る。一年目は全然うまくいかなかった大回りが成長するきっかけになればいい。

岩岳はほんとに悔しい。以上。朝里は…まあ悔しくないと言えば嘘になるけど、とりあえずいい結果が出たのでよしとしたい。

それにしても、中学高校と怪我が多かったとはいえ、まさかここにきてさらに怪我するとは思わなかった。体のケアはしっかりやっていないと。コラーゲンとらなきゃ。インナーマッスル鍛えなきゃ。

さて次のシーズンはどうなることやら。オーズなさそうだし…。まあとりあえず同期には負けないように。かなり伯仲しているから…切磋琢磨してせめぎあって底上げできればいいよな。それに、ELANの先輩が減ったから頑張らなきゃ。エレのELANを引っ張っていかなきゃ。マジョリティなんかには負けんぞー！

Spur 2011-2012

素子 健太郎

来シーズンの目標：札予突破、岩岳130位以上

エレに入部しあつという間の1年が過ぎました。僕は家族や友達とでしかスキーしたことがなく、スキーをみっちり教わったことがなかったので、初めは少し戸惑いを感じました。でも僕の師匠や同じ弟子、その他の同期たちと滑っていく中でもとうまくなりたいて純粋に思えるようになりました。また同期にはスキー経験者も多く、必死に追いつこうと努力しました。同期のみんなはとても向上心があって一緒に滑るだけで良い刺激になりました。また師匠のお二方には基礎基本から丁寧に教えていただき感謝しています。僕なんかは言われたことをソフトにやってくるからといつも師匠を困らせていた気がします…。これからは転倒するくらい大袈裟にやっついこうと思います！そして何より岩岳の新人戦で結果を残せたことや1級を取れたことなどシーズン前に立てた目標を達成できてよかったです。

来シーズンの目標は札幌予選通過と岩岳個人選で130位以上に入ることです。昨シーズン克服できなかったことややり残したことを中心に来シーズンにむけ取り組み、また昨シーズン以上に充実したものになるよう1本1本集中して滑ろうと思います。来シーズンは結果を残してエレに貢献したいです！

SPUR

安藤 実津季

SPURに何を書いたら良いのか散々なやみましたが、SPUR＝軌跡（軽く意識）ということで、私がエレに入ってから初めてのシーズンを終えるまでのことをつらつら書いていきたいと思います。

まず、エレに入ったきっかけですが、まったくもって勢いです。新歓の終わった時期に一人でふらつと行って、前部長である落合さんの「入るの？」にさくつと勢いで「ああじゃあ入ります」って言ったところから私のエレ人生が始まったのでした。勢い万歳。

勢いで入ったものの、高校は家庭部で運動してないし、筋トレが世界で一番嫌だし、その次に走ることが嫌だしという訳で、オフシーズンはエレ部じゃなくてトレ部だ一嫌だ一なんてしょうもないおやじギャグのようなことを考えていました。

そしていざスキーシーズンですが、シーズンに入ったと同時に体育のバドでこけて捻挫

の為、シーズンインが遅れるというなんともあほな事態に・・・

捻挫がなおって人生2回目となるスキーにやっと思ったのですが、エレ史上稀にみる出来なさいでONZEの斜面を歩いて下山。初めていった国際では降りられなくて、わが師匠さきさんとゴンドラで下山。そのあともルスツでイントラ証をつけていながら三回転倒を披露したり、雪煙を巻き起こしたりと、まあ2年の誰よりも転びました。ヘルメットがなかったら、さきさんに転んだ時の極意？を習ってなかったら、スキー場から無事に帰れることはなかったでしょう。止まり方がわからなくてスピード狂の異名を取ったりと色々ありましたが、なんだかんだスキーは楽しくて、どんどんはまっていきました。

岩岳では、Cチながらも団体に出ることができたり、新人戦でも何とかポイントを取ることができて、女子の総合順位にちょっとでも貢献できてよかったです。

シーズンの最後には、ラスト朝里で奇跡のプラ8で2級をとることができて良かったです。師匠の宮本さんは最初信じてくれませんでした・・・笑

私は今シーズンに何とか成長できたかなと思います。それは師匠二人をはじめとする先輩方、同期が教えてくれて、方向性を間違わずに練習できたからだと思います。みなさん大変お世話になりました。ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

来シーズンの目標ですが、まず1級を取ることです。そのためにも、苦手な小回りやこぶの練習を嫌がらずに、積極的に取り組んでいきたいと思います。また、岩岳では、決勝まで残ってエレの総合優勝に貢献できるように頑張りたいと思います。

来シーズンは、はじまりが底辺すぎて伸びるところしかなかった今シーズンと比べて、伸びなやみ等の壁にぶつかったりすることも考えられます。しかし、スキーが楽しいという気持ちを忘れないで、楽しく成長できたらいいなと思います。

SPUR

岩城里奈

目標：1級を取ること 岩岳で2ケタの順位に入ること

北大に入学してサークル選びに迷っていたときに、先輩方の楽しげな雰囲気、かっこいいPVに引き込まれて私はエレに入ることにした。

エレに入ってから、もちろん、検定で級を取りたい、岩岳でいい成績を残したい、と思っていたが、私個人の1番大きな目標はエレに1年間所属し続けることだった。そして、この場で spur を書けていることで、私のこの目標が実現していることになる。先輩後輩、同期、みんなと仲良くいられるエレは、私にとってとても大切な居場所で、今の生活からこの仲間が消えてしまうのは想像がつかない。だからこそ、エレのことが好きな人みんなが続けられるような部活になればいいな、と思う。

私にとって、今シーズンは勝負の年になるだろう。昨シーズンは、師匠や先輩方、同期のみんなに教えて頂いてスキーの魅力を感じることができた。最後に1級を取ることがで

きなかったが、これはオフシーズンから1年間かけて力をためなければいけないという意味で自分の大きなモチベーションになる気がする。1年間かけて、どんなバーンでも対応できる安定した滑りを目指したいと思う。そして何ととっても、私にとって今年は1年中エレの仲間といられる最後の年であるから、スキーの技術はもちろん、悔いの残らないように、みんなともたくさん楽しみたい。

最後に、私の今シーズンの目標は、1級を取ることと、岩岳で2ケタの順位に入ることです。がんばります！今年度もよろしくお願いします。

「来年こそ」

加賀屋 潤

たまたま北食2階でボックスを見つけたのがエレに入部するきっかけでした。雰囲気のエレに入部することにしたが、充実した大学生活を送ることができたのでエレに決めて良かったです。オフトレは想像していたよりもきつくてすぐに筋肉痛になりました。それでもエレのメンバーと仲良くなると会えるのが楽しみになったので、トレに行くのがつらいとは思わなくなりました。

シーズン中はたくさんの先輩にスキーを教わることができてほんとに良かったです。特に師匠の李さん、牧野さんにはお世話になりました。先輩方本当にありがとうございます。最初の公式練で初めてパウダースノー体験して、大学でスキーをすることにして良かったと思いました。それからはとにかくスキーに行くのが楽しみで、前より滑れるようになったと実感できる日が続きました。今シーズン目標としていた1級獲得も達成できて、スキーを楽しみながら上達することができました。

去年の反省は、まず公式練を3回も休んだことです(師匠本当にごめんなさい)。それから、岩岳でポイントを取れなかったことです。新人戦でポイントを取って胴上げされた人を見ると、羨ましかったし、とても悔しかった……。朝里もいい滑りはできなくて、大会の結果ではいい思い出はなかった。来年は必ず岩岳に出場してポイントをとってチームに貢献したい！！そのために今は去年注意され続けた手の形と後傾の改善をしています。鏡を見てイメージして、インラインの時にはストックを持って練習します。来シーズンが待ち遠しいです。

それと、今年は二年生なので後輩の頼りになるような先輩になりたいです。

SPUR

西山隆将

今年は怪我で何もできなかった非常に悔いが残るシーズンとなってしまった。来シーズンのために今はリハビリをがんばろう。早く健常な体を取り戻したい。

この前、エレ二年目の経済学部の奴らが、高速道路を作るときに一人の人がそこを通る時の『喜び』を1000円と考えて高速道路を作るだのと言っていた。つーか、高速を通るのに『喜び』1000円ってなんだ？やっぱりスキーはお金が超かかった、予想以上だ。しかし、エレでスキーをした『喜び』はエレでの膨大な支出よりももっと大きかったと思う。経済の世界で考えればOKだ。吉田、経済学的にこれで合ってるよね？

今シーズン、先輩や同期に恵まれ、とても充実したシーズンだった。

とにかくスキーを楽しんだ。考えて滑ることと、何も考えないで滑ることを3：1の割合で滑べるくらいが丁度よいと思う。

大会では、良くも悪くもないそこその結果で、少しほっとしているのと同時に、普通に悔しかった。結果が全てじゃないといいつつ、結果が良ければ、さらに『喜び』百倍だ！来シーズン、自分の滑りが2ランクくらいアップするように頑張りたい。ゲレンデで最高のパフォーマンスを発揮できることを目指す。

冬は超寒かった。

来シーズンの目標：岩岳個人戦出場

エレに入って1年間過ごしてみて自分の考え方がだいぶ変わったように思います。最初はスキーにあまり興味もなかったのですが、いまスキーがしたくて来シーズンが待ち遠しい自分がいます。スキーがうまくなりたいと真剣に思うようにもなりました。また楽しい同期やスキーを教えてくれる先輩方に出会えて本当によかったと感じます。とりあえず1年間とても充実していました。

今シーズンの大きな反省としてはまずシーズンを通じての大きな目標がなかったことが挙げられます。スキーに対して自信が持てず、シーズン前半は自分がどこを目標にしているかを明確にしないまま楽しめればいいや的な感覚で何となく滑っていました。来シーズンは最初に掲げた目標を達成するために1本1本を考えて大事に滑ろうと思いました。もう一つは1級をとれなかったことです。シーズン初めの頃は自分が1級を受けるなんて考えてもいませんでしたがラストキロロでの検定ではすごく悔しい思いをしました。来シーズンは1級をできるだけ早くとるという事も目標の一つとして掲げていきます。

というわけで総合理系の呪縛から解放された来シーズンはもっとたくさんスキーに行っ

てうまく滑れるように頑張ります！

シュプール

馬場周

来期の目標：岩岳 130 位以内

大学に入学して最初の 1 年間、自分の中でいろいろな変化がありました。身体的なことはもちろんけど（体重は相変わらず変化しない…）、精神的な変化が大きかったです。

北海道＝スキーという安直な考えのもとエレに入った私は、自分の生活の中でエレがこんなに大きな存在になるとは思いもしませんでした。

新勧合宿で膝を痛め、（そして誕生日に病院に行くはめに…）ope、リハビリ、やっとシーズンインできたと思ったらなんかいろいろ起こるし、ビンディングはまがるし(笑)まともに参加できた大会はフィッシャーだけという始末です。

一年間、師匠として教えてくださった下條さん、新沼さん。お世話になった感謝の気持ちは結果で伝えなきゃ、と思って岩岳では絶対結果残そうと思ったのに、それも出来ず。

本当にだめだめな弟子でした。すみません。情けない姿もたくさん見せてしまったし…。

他の先輩方もすごく親身になって話を聞いてくださり、技術面についても詳しく教えてもらえてすごくうれしかったです。本当にありがとうございました。

同期には、もっともっと情けない姿を見せてしまいました。何人の前で泣いたことだろう(笑)みんな優しいし、スキーうまいし、本当に尊敬しています。

…ってあれ？シュプールってこういうことを書くものなのかな？

とにかく私のスキー人生は、絶対一人では歩めてなくて、周りの人たちに大きく依存していたなあっていうことです。そしてこれからも依存していきたくらうってことです。

だからこれからもみなさんずっとずっとよろしくお願いします。

シーズン最後、2 級がとれて本当によかったです。来年以降、1 級は受けられないかもしれないけれど、大会で不整地小回りのぶんを補えるくらい他の種目を練習して、みんなと肩を並べていきたいです。

よっし！まずは痩せて、足回りの筋肉をつけよう！！！！

シュプール

丸岡篤史

「俺は絶対エレスキ入る！！」そんなことを語っていたアイツを馬鹿にしていたのが懐かしい。小学校最後のスキーはアイスバーンへの恐怖がほとんどだった。自分は道民だし、今更スキーは・・・とっていた。新歓説明会は今でも覚えている。無理矢理連れて行かれた教室で見た PV は全く、マジでホントにスキーに興味のなかった自分に“スキーって楽

しそう”と思わせてくれた。テニスサークルに入りそびれて、勉強一筋も考えたが、エレの雰囲気なんとなく自分に合っている気がして入部を決めた。

・・・何度も喋った気がするが、このきっかけは忘れたくないなので、書かせてもらった。もしスキーがしたいだけで入部したなら、とっくにエレを辞めていただろう。

さて、今シーズンは岩岳でポイントを取り、朝里では準決に出ることができた。しかしながら自分の滑りはとにかくシルエットが悪い。とにかくダサい。ビデオで見て、直そうとしたが結局できなかった。自分で考えてみたが、結局理由は“筋力不足“だと思う。今までスポーツでは筋力、柔軟性の不足を小手先の技術でなんとかカバーしてきた。しかし、驚いたことにスキーでは小手先程度の変化では相手に伝わらないのである！こんなにも大きく変えないと相手に伝わらないスポーツは初めてで、すごく苦戦した。持久力がないから低姿勢を維持できない。見た目が良くなる。

来シーズンに向け、この夏にやるべきことは筋力の強化だ。別にマッチョになる必要はない。とにかく筋持久力を上げないとまた転んで怪我しかねない。

そしてお金稼ぎます。

Spur' 11-' 12

三浦和仁

父親の「大学でも自分がやってきたスポーツをやったほうがいいぞ。エレガントスキー部なんかどうだ？」という言葉でエレの存在を知り、新歓に行ってみて雰囲気がとても良かったので入部を決めた。この時は「スキーやってたからそれなりには活躍できるだろう。」と軽く考えていて、自分がこんなにスキーに熱中するとは思っていなかった。

そして、オフシーズンを経て、シーズンインを迎えた。やっぱりスキーは楽しかったけれど、早々壁にぶつかった。まずエレに入る前までの滑りの技術を今推奨されている自然で楽なスキーの技術に変えていくことにとっても苦労した。僕が1級を取ってからの8年でここまで技術の違いがあることに驚いた。最初の方は自分の今までやって来た技術に固執して、成長を妨げていたように思う。この時期のスキーノートを見返してみると、どうすればいい滑りができるのか体で感じるができないというようなことが毎回書いてあった。また、シーズン初期の滑り込み不足が後の大会などに悪い影響を与えたことは明らかだった。おそらく、滑走時間は1年生の中でワースト3に入るくらい少なかっただろう。個人戦選考会ではどうにかメンバーに入ることができたが、フィッシャーカップ、新人戦選考会は滑りが悪い方向に向かっているのを修正できないまま出場する形になってしまい、結果も散々だった。その遅れを取り戻すために授業が終わってからはほぼ毎日スキーに行き、岩岳を迎えることになった。

岩岳は北海道の雪質とかなり異なって滑りにくく、前日までの練習で自信を失うことになってしまい、周りの人がみんなうまく見えた。やはり、滑走時間の不足が響いて、まだ

様々なバーン状況に対応できるほど成長してはいなかった。また、自分ではあまり緊張しているつもりはなかったけれど、大会当日は体が思うように動かなかったし、予選が終わってからはむしろ調子が良かったので、心身ともにプレッシャーにやられていたんだと思う。大会を終えて、エレは男子総合2位という結果に終わってしまったが、総合優勝を勝ち取ることができなかったのは予選落ちしポイントを取れなかった僕の責任が一番重いと考えている。優勝を狙ってこのシーズンを頑張ってきた先輩方や同期、期待してくれたOBの方々には本当に申し訳ない。来シーズンは必ず決勝まで進み、できるだけ多くのポイントを稼ぎたい。

次に朝里大会を迎え、新人戦9位、個人戦39位とまずまずの成績を残すことができた。これは今までやって来たことが実を結び始めた結果だと思う。ただ、トップクラスの成績を残している選手とは滑りの形、質共に大きな差があった。来シーズンはこの差を埋め、さらに上位を目指していきたい。

これから始まるオフシーズンのトレでは、来シーズンを万全の状態を迎えられるように、今シーズンで溜まった疲労を抜き、動ける体を作っていきたい。加えて、今シーズン常に感じていた筋力不足の強化にも取り組みたい。そして、シーズンに入ったら自分の課題の克服と技術の向上の両方を並行して取り組んでいきたい。

来シーズンは表彰式を笑って迎えたい！！

さいごに

ここまで読んでくださった皆様、まずはお礼を、ありがとうございました。エレガントスキー部の熱き思い、いかがでしたか？自分もみんなのSpurをよんで、いろいろ感慨に侵っています。まだまだシーズンは先ですが、来るべき戦いの冬に向け、体を鍛え、心を鍛え、そして絆を強めて、我々エレガントスキー部はスキーを楽しみながら、個々の目標に向けて努力していく所存であります。勝手ながらこのたび編集をさせていただきました宝居が、決意表明とさせていただきますと思います。

では、またのご機会に

敬具